

アセスメントとカンファレンス

—利用者本位の実現と業務改善のヒント—

【講義・演習】

▽日時／2025年1月17日・24日(金)10:00～16:00（受付9:30～）【2日間】

▽会場／千葉市社会福祉研修センター研修室（千葉市ハーモニープラザ B 棟2階）

▽募集定員／20名(先着順)

▽受講資格／市内福祉施設・事業所にお勤めの方。

▽受講料／無料

▽持参するもの／筆記用具

▽申し込み方法／別紙『研修受講申込書』に必要事項を記入し、FAX または HP(12/23 以降)からお申し込みください

【定員到達次第締め切りとなりますので予めご了承ください】

研修の方向性

「質の高い支援とは何か？」「根拠ある支援とは何か？」「リスクマネジメントは担保されているか？」

福祉・介護の現場に要求される専門性の守備範囲はとて広がっています。

『尊厳の保持』『個別化支援』という使命を果たすためには、「個」の感性に頼りきるのではなく、

「組織として感度の高い支援を提供できる仕組み」の確立が重要になります。

本研修では、専門職として「支援の構造の理解」を踏まえ、場面分解によるアセスメント手法を体験していただきます。さらに、効果的な会議(カンファレンス)進行から模擬介護計画立案までの一連の流れについて、演習を通じてポイントを整理・確認していただきます。

(教材は認知症の状態にある方へのケア提供場面を想定していますが、高齢者・障害者支援のプロセスを再確認できるものとなっております)

プログラム(予定)

- 1 支援専門職の仕事とは
- 2 アセスメント—日常生活行為は身体機能と知的機能が駆使されていることに気付く—
- 3 日常生活行為を場面分解する
- 4 カンファレンスの開き方・参加の仕方
- 5 介護計画の立案

主催 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会

千葉市社会福祉研修センター <http://www.chiba-shakyo.jp/kc/>

TEL 043(209)8841 FAX 043(312)2943 担当 山村